



熊谷次郎直実の像（熊谷駅前）

## 第107号

## 発行所

埼玉県熊谷市須賀広784番地  
一般社団法人 埼玉県畜産会  
〒360-0102  
TEL 048-536-5281  
FAX 048-539-1011

## 発行人

根岸 信一郎

## 印刷所

ポプラ社印刷株式会社  
深谷市人見242-3  
TEL 048(572)9415



彩の国さいたま

## 目 次

1 新年のごあいさつ（一社）埼玉県畜産会会長 根岸 信一郎 .....	2
2 令和3年年頭挨拶「新たな埼玉の歴史に向って」埼玉県知事 大野 元裕 .....	3
3 埼玉県からのお知らせ	
(1) 和牛遺伝資源の管理・保護のための新制度がスタートしました（畜産安全課）.....	5
(2) 令和2年冬シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生について（畜産安全課）.....	6
(3) 県内で発生した家畜の植物中毒事例を報告します（中央家畜保健衛生所）.....	7
4 行事報告	
(1) アフリカ豚熱、豚熱防疫対策徹底のための車両消毒演習 .....	8
(2) 車両消毒演習と「Change Boots & Save Farm」（防疫ステッカー）の配布（埼玉県養豚協会） .....	9
(3) 畜産女性WEB研修会（第1回、第2回）（畜産女性いきいきネットワーク埼玉） .....	10
(4) 家畜の盗難被害に関する注意喚起等について .....	11
(5) ご存じですか？『高糖度飼料用稲』.....	12
5 イベント報告	
(1) 埼玉県浦和競馬協賛レース及び畜産フェアWEB版が開催される .....	13
6 雑感	
畜産会に就職して .....	14
7 浦和競馬	
Ⅰ 令和3年度（2021年度）南関東地方競馬開催日割 .....	15
Ⅱ 浦和競馬へ行こう！ .....	裏表紙



# 新年のごあいさつ

一般社団法人 埼玉県畜産会  
会 長 根 岸 信一郎

会員並びに関係機関・団体の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年を振り返りますと、3月から新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなり国内でも春の第1波、夏の第2波、秋から冬の第3波と日を追うごとに感染のピークが高くなり、未だ終息の兆しが見えない状況が続いております。

第1波の時には国の緊急事態宣言により、学校が休校になったことで学校給食用牛乳の需要がなくなり、生乳の需給が緩み加工に回すことで廃棄を回避できたという状況でした。

また、牛肉も消費が落ち込み価格が低迷するなど様々な影響が出ましたし、未だ回復しないという状況が続いております。

例年秋には県や市町村の農業祭に畜産物の消費拡大のためのイベントが組まれておりましたが、軒並み中止また延期となり消費者へのPRの機会を失うという誠に残念な状況となりました。

このような状況の中、牛肉消費を喚起するため、学校給食に牛肉を提供する取り組みが始まり、普段学校給食では牛肉が提供されることは極稀だったので、未来の消費者となる児童生徒からは「おいしい」、「やわらかい」、「今度はいつ」など大きな反響があり、好評でした。

一方、家畜の伝染病では9月に群馬県で豚熱が発生し、11月には香川県で高病原性鳥インフルエンザが2年10か月ぶりに発生し、福岡県、兵庫県と連続して発生があり、関東でも千葉県で過去最多の発生がありました。

当会といたしましては、生産者に正確な情報を提供し適切な防疫対策について注意喚起してまいりました。

今年は昨年延期された東京オリンピック・パラリンピックの年です。

世界各国からアスリートをはじめ人が集まります。コロナ禍ではありますが、埼玉県産農産物・畜産物を世界にPRする機会でもあります。

当会といたしましても、県や関係機関と連携しながら、飲食店等に対し、畜産物の情報提供に努めてまいります。

今年一年が皆様にとって平和で最良の年となりますこと、そして、畜産業界にとって、伝染病の発生のない平穏な1年となりますことをご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。





明けましておめでとうございます。一般社団法人埼玉県畜産会の皆様には健やかに令和3年の新春をお迎えることとお喜び申し上げます。

去年は、新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた一年でした。当初、未知のウイルス故に確立した対処法がない中で、模索しながらも様々な施策を進めました。

皆様には、これまでに経験したことのない事態に際し、外出の自粛、施設の使用停止や学校の休業など、格別の御理解と御協力をいただきました。改めて心から感謝を申し上げます。

また、医療関係者をはじめエッセンシャルワーカーの皆様におかれましては、感染リスクを抱えながら県民の暮らしを支えるため、今なお最前線で奮闘されています。深く敬意を表するとともに、重ねて厚くお礼申し上げます。

今後も、新型コロナウイルスに強い危機感と緊張感を持って対応していかなければなりません。一方で「新しい生活様式」を実践し、感染防止対策と社会経済活動の両立をでき得る限り維持していくことも必要です。

私は、日々更新される知見を取り入れ、社会の変化にも柔軟に対応しながら、県民の皆様を守るために最善の方法を選択し、この困難な問題の解決に全力で取り組んでまいります。

さて、私は就任以来、県民サービスの向上を目的として行政のIT化やペーパーレス化などの行財政改革を積極的に推進してきました。

さらに、新型コロナウイルスへの対応の一つとして、テレワークやキャッシュレス決済など、接触機会を低減させつつ社会生活を送る取組が予想を上回る速さで家庭や職場などに広がっています。

これから、こうした社会や人々の意識、行動における変化を的確に捉え、「働き方改革」や「誰もが活躍できる社会」の実現にもつながる変革に挑戦してまいります。

とりわけ、デジタル技術により官民間問わず様々な分野で変革を促すデジタル・トランスフォーメーション(DX)を重点的に推進してまいります。

また、これから埼玉県には少子化や急速な超高齢化に伴う本格的な人口減少社会が到来します。いわゆる団塊の世代が全て75歳以上となる2025年にかけて、全国で最も速いスピードで75歳以上人口が増加します。また、現役世代の人口減少による社会の活力低下を克服する必要もあります。

このため、「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」を進めることにより、医療・介護需要の増加や働き手の不足、都市のスポンジ化などの課題に対する私なりの答えを形にしたいと考えています。

具体的には、「コンパクト」なまちづくりとして、生活圏を集約化し、医療や福祉などを切れ目なくつなげるほか、職住近接による子育て環境の向上を図ります。次に「スマート」の視点を取り入れ、AIやIoTを活用し高齢者の見守りを行うなど、効率的で効果的な取組を進めます。そして最後は「レジリエント」を意識し、災害に強い技術だけでなく、エネルギーの強靱化などにより安心・安全を高めることで、人生100年時代

にふさわしいまちづくりの展開を目指します。

こうした施策をはじめ、県の施策を横断的に貫く一本の柱とも言えるのが「埼玉版SDGsの推進」です。SDGsの基本理念は、「誰も取り残さないこと」です。あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる「日本一暮らしやすい埼玉県」を実現するためにも、県内の様々な方々に御参加いただきたいと考えています。

今年は、1871年の廃藩置県により埼玉県が誕生して150周年を迎えます。この節目の年に私たちのふるさと埼玉県を知り、見つめ直し、その魅力を県内外へ、そして未来へ伝えていきます。

また、本県が誇る偉人の一人、渋沢栄一翁を描いた大河ドラマ「青天を衝け」が始まります。時代の大渦に翻弄されながらも、高い志を持って未来を切り開いていく過程は必見です。

そして、いよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会も開催されます。感染防止対策などに万全の体制を整え、スポーツの振興はもとより、多文化交流や共生社会の推進などにより、皆様と一緒に次代へ引き継ぐレガシーを創り上げたいと思います。

今年の干支は、丑（うし）です。丑は勤勉によく働く姿が「粘り強さ」や「堅実さ」を象徴していると言われています。今年も、皆様と粘り強さと堅実さを兼ね備えた「ワンチーム埼玉」となって、共に前進してまいりましょう。



## 埼玉県からのお知らせ

## 和牛遺伝資源の管理・保護のための新制度がスタートしました

黒毛和種に代表される「和牛」は国内のみならず、最近では海外での人気も非常に高くなっています。国際的な価値の高まりを背景に、平成30年6月に中国への和牛精液・受精卵の不正輸出未遂事件が発生しました。

我が国の宝である和牛の精液等遺伝資源を適正に流通管理し、知的財産としても保護するために、令和2年10月1日に「家畜改良増殖法の一部を改正する法律」及び「家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律」が施行されました。

### 1 家畜改良増殖法の改正のポイント

#### (1) 家畜人工授精所以外の場所における精液等の保存の禁止

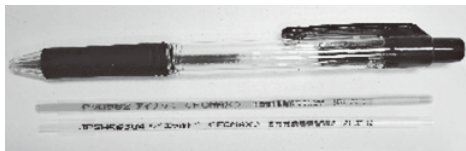
「家畜人工授精所」(以下、「授精所」という。))とは、家畜人工授精用精液等の採取・処理(製造)・保存を実施するための施設です。

「保存」は凍結精液等の品質を維持し、衛生的に行う行為とされ、家畜人工授精用精液・受精卵は授精所で保存することが明文化されました。自家利用のために精液等を保存する場合には授精所の開設は不要ですが、他者へ譲渡(販売・提供)する場合には開設が必要です。

#### (2) 特定家畜人工授精用精液等の指定

経済的価値が高いなど特に適正な流通を確保する必要があるものを「特定家畜人工授精用精液等」として、農林水産大臣が指定することが可能になりました。

現在、「和牛4品種(黒毛和種、褐毛和種、日本短角種、無角和種)及びこれら和牛同士の交雑種」の精液等が特定家畜人工授精用精液として指定されており、その封入容器(ストロー)への種雄牛名称等の表示やその譲渡等の記録が義務付けられています。



(印字により情報が表示されたストロー)

### (3) 家畜人工授精所の運営状況報告等

家畜人工授精用精液等の流通の要となる授精所の開設者に対しても様々な事務が新たに義務付けられました。

具体的には、特定家畜人工授精用精液等の流通情報を記録する譲渡等記録簿の作成、運営状況の都道府県知事への報告や開設許可証の授精所内の備え置が必要となりました。

### 2 家畜遺伝資源に係る不正競争の防止に関する法律のポイント

特定家畜人工授精用精液等を不正に利用した場合には差止請求や損害賠償請求適用が可能となりました。精液等そのものだけではなく、不正流通精液を利用して作成した受精卵や生産した子牛などの派生物も保護の対象となります。

また、悪質性の高い不正行為については、罰則が適用されます。(個人の場合:10年以下の懲役又は1千万円以下の罰金、法人の場合:3億円以下の罰金)

#### ●和牛精液・受精卵の生産事業者の皆様へ

この法律に基づき、知的財産としての価値の保護を受けるため、和牛の精液・受精卵を譲渡するときには、契約等により、使用可能な範囲・目的を明示しましょう。

#### ●家畜人工授精師、獣医師や畜産農家等の皆様へ

契約等により示された使用可能な範囲・目的を守り精液等の使用・譲渡等を行いましょう。



### 3 問い合わせ先

県畜産安全課畜産振興担当 (電話: 048-830-4194)



## 令和 2 年冬シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生について



埼玉県農林部畜産安全課  
家畜衛生担当

令和 2 年 11 月、国内では約 3 年ぶりに高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生が香川県で確認されました。養鶏農場については西日本を中心に発生が続いていましたが、12 月 24 日に千葉県の大規模農場でも発生が確認され、年末年始に関わらず 100 万羽規模の殺処分が行われました。

また、年末までの約 2 か月間で 13 県 33 事例 480 万羽という発生状況は、続発の速さと規模で過去に例がありません。

特に、今シーズンの西日本における農場発生は、近隣にため池があることや、養鶏密集地域での発生が多いことや、今回の流行株が鶏に対して高い致死性を示すものの、感染してから死亡するまでの期間が過去の国内流行株と比べ長い傾向にあるなどの特徴が明らかにされています。このことから、農場にウイルスが侵入してから気が付くまでに時間がかかり、養鶏密集地域では、気付いた時にはウイルスが地域にまん延してしまい続発しているという状況が推察されます。また、国の疫学調査により、発生農場では消毒や野鳥を含む野生動物対策が必ずしも十分でなかったことが指摘されています。

御存じのとおり、HPAI ウイルスの国内侵入には、渡り鳥が関与しているとされており、今シーズン国内で流行している HPAI ウイルスは、遺伝子解析により、昨冬にヨーロッパで流行した H5N8 亜型と同じで、今秋に渡り鳥と共に大陸を渡って国内に侵入したと考えられています。

過去の国内発生では、野鳥由来の HPAI ウイルス検出から農場発生までは 1 ～ 2 か月の間がありましたが、今シーズンは、10 月下旬に、韓国、北海道において野鳥の糞便から H5N8 亜型が相次いで検出され、直後に香川県内の養鶏農場で発生するといった非常に速い展開でした。その後、新潟、鳥取、岡山、鹿児島など、各地で野鳥由来の検体から同型のウイルスが検出されており、全国的に発生リスクが非常に高い状況であると専門家も警鐘を鳴らしています。

直近の HPAI の国内流行は平成 28 年度シーズンで、農場では 9 道県 12 農場約 166 万羽、野鳥では 22 都道

府県 218 事例の HPAI が確認されました。

当時、埼玉県内では農場、野鳥いずれも HPAI は確認されませんでした。

しかし、今シーズンは令和 2 年 12 月 23 日にときがわ町で回収された死亡ふくろうから HPAI ウイルスが検出され、国内で流行している H5N8 亜型であることが判明しました。環境省から 12 月 30 日に HPAI 確定の連絡を受けた翌日、回収地点を中心とする半径 3 キロ圏内の家きんを 100 羽以上飼養する農場に、家畜保健衛生所が緊急立入検査を実施し、飼養鶏に異常がないこと、消毒や野鳥の侵入防止対策などを適切に実施していることを確認しました。

県内で、死亡野鳥から HPAI ウイルスが検出されたということは、農場での発生リスクが格段に高まったと言えます。

12 月 11 日に国の鳥インフルエンザ関係閣僚会議において、養鶏農家の飼養衛生管理の徹底及び全国一斉の緊急消毒の実施などの予防的措置を取ることとされたことを受け県では、家畜伝染病予防法第 30 条に基づく消毒命令を発出しました。渡り鳥の飛来状況から、発生リスクが非常に高い期間である、令和 2 年 12 月 16 日から令和 3 年 5 月 10 日を実施期間としています。

家きんを飼養している皆様におかれましては、より一層の危機感を持って、HPAI の発生予防に取り組んでいただくよう、また、飼養する家きんに異常を認めた場合には、管轄の家畜保健衛生所への速やかな通報の徹底を改めてお願いいたします。

また、畜産関係者の皆様におかれましては、家畜伝染病発生予防のため、養鶏（畜産）農家における消毒実施や専用の長靴・作業服への着替の徹底など、飼養衛生管理基準の遵守に御理解、御協力くださるようお願いいたします。

### 【問い合わせ先】

県農林部畜産安全課家畜衛生担当

電話：048-830-4175

E-Mail：a4170-01@pref.saitama.lg.jp

**県内で発生した家畜の植物中毒事例を報告します**

埼玉県中央家畜保健衛生所

**【ユズリハによる肉用牛の死亡事例】**

肉用牛にユズリハ（ユズリハ科）の剪定枝を給与したところ、食欲廃絶、四肢痙攣、起立不能を呈し死亡しました。ユズリハには多種類のアルカロイド（毒性物質）が含まれており、これを摂取すると食欲不振や第一胃が動かなくなる等の症状が現れます。国内でも、1970年代に牛のユズリハ中毒事例が報告されて以降、数例発生しています。



ユズリハの枝葉



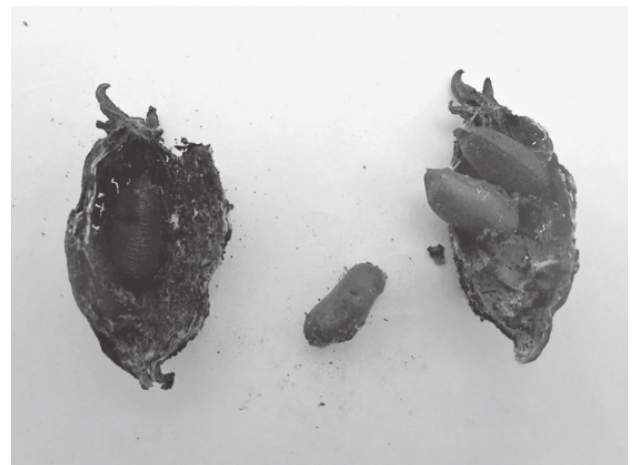
ユズリハの葉

**【ロウバイによる緬羊の死亡事例】**

ロウバイ（ロウバイ科）の種子を緬羊が摂取したことで痙攣や呼吸促迫を呈し死亡しました。これは、ロウバイの種子や葉に含まれるアルカロイドにより中枢神経におけるドーパミン量が増えて興奮作用を示したためです。中毒症状を起こす種子の摂取量は明らかになっていませんが、海外では牛、山羊で中毒事例が報告されています。



ロウバイの花



ロウバイの種子

身近な植物が、家畜に中毒を引き起こすことがあります。農場に植栽されている植物や剪定枝等は事前に種類を調べ、種類の不明な植物は給与しないでください。

## アフリカ豚熱、豚熱防疫対策徹底のための車両消毒演習

令和2年11月12日（木）熊谷スポーツ文化公園内の熊谷ラグビー場において、アフリカ豚熱、豚熱防疫対策徹底のための車両消毒演習が、（一社）埼玉県畜産会・埼玉県・（一社）埼玉県配合飼料価格安定基金協会・埼玉県配合飼料商協会・埼玉県養豚協会の5団体合同により開催されました。

令和元年9月～11月にかけて県内の養豚場5件において発生した豚熱（CSF）は、県内の養豚農家に大きな脅威となりました。同年12月からワクチン接種が始まり、野生イノシシへの経口ワクチンの散布なども進んだことから、以後、豚熱の発生は確認されていません。

しかし、油断はできません。アフリカ豚熱は海外で依然猛威を振るい、群馬県では豚熱がワクチン未接種豚に発生するなど、衛生対策の徹底が引き続き不可欠です。

今回の演習は養豚農家や配合飼料会社関係者等48名が参加しました。

机上演習では埼玉県での豚熱発生時の状況や家畜伝染病予防法改正の概要と飼養衛生管理基準などの説明があり、その後農場出入り時の車両消毒について、マニュアルに基づいた説明がありました。

実地演習では、営業用小型車両と飼料運搬用大型車両2台の消毒について、運転手が車外に出る前の靴底の消毒をはじめ、効果的な消毒のポイントの細部について実演がありました。

実際に農家に出入りする飼料会社関係者からは、「乗車・降車の対応を細かく知ることができ良かった」「座学だけでなく実際に想定した演習はわかりやすかった」「同様の演習を繰り返し行ってほしい」などの声をいただきました。



## アフリカ豚熱、豚熱防疫対策徹底のための消毒演習と 「Change Boots & Save Farm」(防疫ステッカー)の配布

埼玉県養豚協会

令和2年11月12日に熊谷ラグビー場において「アフリカ豚熱、豚熱防疫対策徹底のための車両消毒演」を（一社）埼玉県配合飼料価格安定基金協会、埼玉県配合飼料商協会と共催で実施しました。

当日は、飼料運搬車や営業車の車両消毒について講習、実演を行いました。また、この演習に参加した埼玉県内に飼料を販売する飼料関連業者に、消毒の励行を意識付けるための「Change Boots & Save Farm」(防疫ステッカー)を配布しました。

農場内にアフリカ豚熱、豚熱を侵入させないためには適切な消毒が必須で、農場の伝染病侵入防止策として飼料業者とともに目に見えるものとするため、防疫ステッカーを配布し、農場出入口に掲示するとともに飼料運搬車の運転手にも注意喚起として農場主からステッカーの貼付を要請できるよう、会員あてに配布しました。

### 【消毒演習当日配布した防疫ステッカー】



## 畜産女性WEB研修会（第1回、第2回）

令和2年10月22日（木）及び令和2年12月18日（金）の2回、ホテルヘリテージ（熊谷市）において、県内畜産女性等を対象に、（一社）埼玉県畜産会と畜産女性いきいきネットワーク埼玉の共催により、畜産女性WEB研修会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大で、しばらくの間研修会の開催を控えていましたが、政府によるイベントでの人数緩和を受け、畜産女性の研修会としては令和2年2月以来の開催となりました。

10月22日の第1回には15名が参加しました。3密を避けるため広い会場で、マスク着用・検温・手指消毒・換気を徹底しての開催となりました。今後リモートでの会議等が増えることを想定しZoomを使用した研修会とし、アプリ取得から始め、基本操作ができるまでを研修しました。参加者はZoomを使用したことのない人が殆どで、機器（PC、スマホ）の操作に手間取りました。それでも終了後は、会議への参加方法やZoomの機能を知ることができ、今後の仕事に活かせる等好評を得ることができました。

続く12月18日（金）の第2回には12名が参加し、一歩進んで会議を開催する側としてのノウハウの取得を目指しました。研修会では講師の作業を視聴しながら自身の機器を操作しましたが難しいことも多く、時間内で完全にマスターしたとは言えませんが、コロナ禍、今後のリモート等の需要増加を考えると、今回の研修会は、会議開催だけでなく自らの情報発信にも役立つなど活用の幅が広いものとなりました。



## 家畜の盗難被害に関する注意喚起等について

埼玉県を含む北関東で家畜等の盗難被害が発生したのを受け、一般社団法人埼玉県畜産会長、埼玉県酪農協会会長、埼玉県肉用牛経営者協会会長、埼玉県養豚協会会長、埼玉県養鶏協会会長、埼玉県養蜂協会会長の連名で注意喚起しています。

家畜の盗難は経済的損失のみならず、家畜疾病の農場内への侵入及まん延につながる重大な問題です。

皆様におかれましては、盗難防止の対策として、「畜産業における防犯等のポイントについて」（家畜の盗難被害防止）を参考に家畜などの盗難に十分注意していただき、盗難が発生した場合は、速やかに警察に通報するとともに、当会にも連絡してください。

また、窃盗犯グループは危険物などを所持している可能性がありますので身の安全を第一に行動してください。

### 【畜産業における防犯等のポイントについて（家畜の盗難被害防止）】

- ① 家畜の飼養頭羽数を小まめに確認し、盗難の被害が発生していないか確認する。
- ② 農場出入口、畜舎、飼料庫、機械倉庫等の窓や出入口は施錠を徹底する。
- ③ 農場で使用する機材等が盗難に利用されないよう小まめに整理整頓する。
- ④ 農場、畜舎周辺にネットや柵等を設置し、侵入しにくい環境を作る。
- ⑤ 外部の通行人から見える農場敷地内や畜舎周辺に「盗難防止警戒中」「立入禁止」「防犯カメラ作動中」等の看板やのぼり旗等を設置する。
- ⑥ 防犯カメラ、センサーライト等を設置する。
- ⑦ 不審者・不審車両を見かけた際や被害が判明した際は、速やかに警察に通報する。
- ⑧ 防疫の観点から、農場出入口や畜舎周辺等における石灰の散布等の消毒を適切に実施する。

## ご存知ですか？『高糖度飼料用稲』

飼料用稲は、従来の食用稲の技術を活かして栽培できるという大きな利点があります。特に「つきすずか」等の高糖度飼料用稲は、高品質な稲発酵飼料生産が期待できます。

高糖度飼料用稲は、籾の割合が従来品種（はまさり）と比較して顕著に少なく茎葉の割合が高いため、牛が効率的に消化できます。また、穂が小さいため重心が低く、黄熟期を過ぎても倒伏しづらく、収穫期間が長いという特徴があり、栽培管理も比較的容易です。収量も従来品種より優れています。（図1及び表1）

高糖度飼料用稲という名が示すとおり、乳酸発酵に必要な糖の含有量が乾物中8～20％程度と従来品種（はまさり）の4％前後より多いため、良質なサイレージ調整に適しています。（図2）

粗繊維の消化率は、従来品種が約50％であるのに対し、約60％と高い特徴があります。可消化養分総量（TDN）含量も従来品種と比較して高いです。

今年度、上里町及び熊谷市のほ場で「つきすずか」「つきはやか」「つきあやか」の実証展示を行いました。（図3）

現在、収穫した稲の成分組成について分析中です。結果が出ましたら、再度皆様に報告します。



図1 高糖度飼料用稲  
「つきすずか」  
（農技研 酪農担当提供）

品種	出穂期 (月/日)	出穂から 収穫期ま での日数	収穫期生育調査（坪刈り）			
			草丈 (cm)	生草収量 (kg/10a)	乾物収量 (kg/10a)	乾物穂 割合(%)
つきすずか	9/13 ※	32	170	6,021	1,819	0.5
はまさり	9/15	30	123	4,838	1,577	26.1

H27: 基肥 8kg/10a、追肥 4kg/10a、移植日 6/18  
※ 出穂期に達しなかったため出穂始期を示した

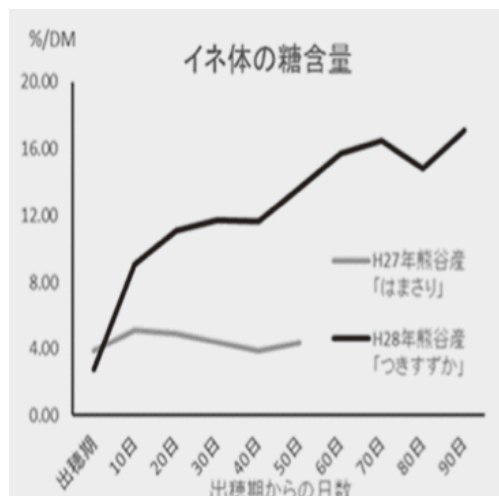


図2 「つきすずか」と「はまさり」のイネ体糖含量の比較

栽培しやすく、牛にも優しい  
『高糖度飼料用稲』  
皆様、使ってみませんか？

ご興味のある方は、

埼玉県農林部畜産安全課畜産振興担当

電話：048-830-4194

メール：a4170-02@pref.saitama.lg.jp

までお問い合わせください。



図3 熊谷市における実証展示「つきはやか」の様子

## 埼玉県浦和競馬協賛レース及び 畜産フェアWEB版が開催される

令和2年10月20日、11月24日～11月27日及び12月24日の6日間にわたり、浦和競馬協賛レースが開催されました。

また、11月の浦和競馬開催期間中に、同競馬場に於いて、「浦和競馬畜産フェアWEB版」が栃木県、群馬県、長野県、埼玉県の各県馬事畜産振興協議会などの共催で開催されました。今回の畜産フェアは新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から埼玉県浦和競馬組合の公式ホームページで応募を受け付け、クイズ正解者の中から抽選で240名に各県の畜産物をプレゼントするWEB版として開催しました。

浦和競馬協賛レースでは、埼玉県馬事畜産振興協議会を通じて、優勝馬主、調教師、騎手、厩務員にサイボクハムギフト券を贈呈するとともに、栃木県、群馬県、長野県の各協議会からも協賛レースの馬主、調教師、騎手、厩務員に各県の畜産物が贈呈されました。

### 【協賛レース】

期 日	協賛レース
10月20日	畜産女性いきいきネットワーク埼玉会長賞、埼玉県牛群検定組合長賞
11月24日	長野県畜産会長賞、埼玉県養豚協会会長賞、埼玉県養鶏協会会長賞、埼玉県養蜂協会会長賞
11月25日	埼玉県畜産技術振興会長賞、埼玉県肉用牛経営者協会会長賞、埼玉県酪農協会会長賞、埼玉県馬事畜産振興協議会長賞、埼玉県畜産会長賞
11月26日	東毛酪農63℃賞、栃木県馬事畜産振興協議会長賞、栃木県畜産協会会長賞
11月27日	J A高崎ハム賞、上州和牛賞、群馬県畜産協会会長賞
12月24日	埼玉県畜産懇話会長賞

### 【畜産フェアWEB版】

- 受付期間 令和2年11月24日～29日
- 応募者数 2,607名
- プレゼント
  - 埼玉の畜産賞 純粋蜂蜜（あかしあ、百花）50名
  - 栃木の畜産賞 とちぎ和牛（すきやき用）20名  
とちぎ和牛（ステーキ用）40名
  - 群馬の畜産賞 高崎ハム（尾瀬ボンレスハム、榛名山ポークソーセージのセット）70名
  - 長野の畜産賞 黒姫高原牧場ヨーグルトのギフトセット 60名

# 畜産会に就職して

推進事業部 技師 吉田 英樹

2020年1月に（一社）埼玉県畜産会に就職しました吉田英樹と申します。本会に在籍して1年がたったしまったことに驚いております。本会に入る前は全く別の業種に携わっており、畜産業に触れることは初めての体験でした。現在、和牛の登録業務や牛凍結精液の販売など、毎日新鮮な気持ちで従事しております。

和牛の登録では、県内を回り、牛の鼻紋をとる作業の補佐をする中で、初めて子牛にロープをかけて引っ張った時に、生後4か月未満の牛に振り回されてしまい、その力の強さに驚かされたことをよく覚えています。1年が経過して牛を捕まえることも慣れてきましたが、もっと早く、負担なく捕まえられるのではないかと日々考えさせられます。

凍結精液の販売時には、牛の成績や系統で価値が大きく変わってしまうこと、また、品種の改良には年単位の時間がかかるなどから、慎重に精液を選ばなければいけないと感じています。

本会の雰囲気はとても明るく、諸先輩方には親切に指導してもらっています。また、業務内容以外の話も気さくに応じていただけるので、仕事内容だけでなく、畜産農家のことや、埼玉の各地域の情報など、様々なことを知ることができてとても働きやすい職場と感じております。その中で、働いてみて本会の仕事内容の多様さや事業の数の多さ、それらをこなしている先輩方にも感心しております。そして、一つ一つの仕事は本会だけではなく、様々な関係機関の方々の協力で成り立っていることも知りました。また、畜産農家の方々もとても気さくに話しかけてくれることもあり、緊張せず仕事に慣れていくことができたので、皆様にはとても感謝しております。

私自身一つでも多く仕事をこなせるようになり、埼玉県畜産振興の役に立てるように努力しなければと感じております。農家の皆様、会員の皆様には、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます。



【牛の鼻紋とりも慣れてきました】

— 15 —

～馬が近い 空が広い 笑顔がいっぱい～

# 浦和競馬へ行こう！



浦和競馬

さいたま市南区大谷場 1-8-42

TEL048-881-1551

近さが魅力の浦和競馬。

白熱したレースが間近で観戦できます。



埼玉県のマスコット  
コバトン



令和元年9月にオープンした2号スタンド。  
より快適な競馬観戦にオススメです！！



浦和競馬キャラクター  
ウラワール

WINS

ウインズ浦和  
(浦和競馬場)

浦和競馬場ではJRAが開催する日曜日・祝日  
及びG I 開催週の土曜日(代替開催を除く)に勝  
馬投票券の発売・払戻を行っています。

## 【浦和競馬場へのアクセス】

JR浦和駅東口より徒歩15分

JR南浦和駅東口より往復無料バス5分

※ 現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入場者数等の制限を行いながら営業しております  
ので、浦和競馬公式ホームページ等でご確認の上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。